

# 第366回東三河サイエンスカフェ 2025年12月18日(木) 午後6時30分～7時50分



東三河サイエンスカフェ

検索

<https://kj65kawai.github.io/cs/>

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

## 色揚げ (IROAGE - The Surface Treatment of Kobans - ) — 情報A-Z「I」の巻 —

江戸期の小判は、「やまぶき色」と称されるように、黄金色に輝いています。小判は、金貨とされますが、純金ではなく、金と銀の合金です。合金のままの小判は、黄みをおびた白色をしています。これに色揚げと呼ばれる表面処理をおこない、黄金色に輝かせているのです。表面に数種類の薬品を塗り、加熱し、水洗いすることで、表層部の銀を取り除き、金だけを残す、という処理です。



金魚など観賞魚の体色を鮮やかにするために、餌や環境を調整することも色揚げと呼ばれます。

今宵は、小判を輝かせる色揚げ処理についてサイエンスしてみましょう。

### ★ゲストスピーカー：

河合 和久 先生

工博(阪大)

### ★先生のご専門：

コンピュータ・

サイエンス

### ★先生からの一言：

大学生の頃、伊丹市にあった大手総合電機メーカーのIC工場に、学科主催の就活として、工場見学にいったことがあります(今では、中等教育段階の見学内容ですが、40数年前のことです)。そこで、ICチップを基盤に接続するボンディングの工程を見たのを、よく覚えています。接続するワイヤには、金 が用いられていました。

★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。

定員20名。定員に達し次第しめきります。

事前に参加申込をしてください。

★申込：「第366回参加希望」と明記し「氏名」「年齢」「連絡先(メールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局

メール：[kawai@tut.jp](mailto:kawai@tut.jp)

申込〆切：12月17日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報は、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。

オンラインのみ  
での実施です。

★オンライン(Google Meet 使用)：URL等詳細は、申込者あて別途連絡します。